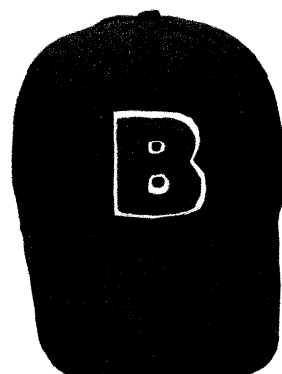
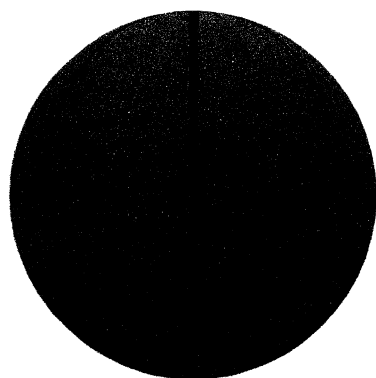


令和6年度事業報告

理事長・施設長

柿 添 信 義



令和 6 年度事業報告

社会福祉法人同仁会

1. 社会福祉法人同仁会経営の原則

この法人は、社会福祉事業の主たる担い手としてふさわしい事業を確実、効果的かつ適正に行うため、自主的にその経営基盤の強化を図るとともに、その提供する福祉サービスの質の向上並びに事業経営の透明性の確保を図り、もって地域福祉の推進に努めるものとする。

2. 介護の基本理念

高齢者が自らの意志に基づき自立した質の高い生活を送ることができるように支援していく。(自立支援の原則に沿って利用者個々の QOL の向上を目指す。)

3. 施設の理念及び方針

- (1) 利用者に対して尊敬の念を持ち、個性を尊重し利用者、家族の意向を十分取り入れた介護計画に沿って、利用者個人がサービスを決定できるよう援助し、より良いサービス提供に努める。
- (2) 地域への貢献を念頭に、家族・地域住民との連携を密にし、情報の公開、提供及び施設開放に努める。
- (3) 施設は、適切な経営を行えるよう研鑽を重ね、基盤強化、効率化に努める。
- (4) 個人情報保護の遵守

4. 今年度最重点目標

○残存機能の維持、出来ることはしていただく、出来ないことへの配慮、徹底しましょう。(急がない・ご利用者のペースに合わせて)

○身体拘束廃止・虐待防止・BCP・リスクマネジメント・ハラスメン

ト防止等全事業所で取り組んでいきます！

○ノーリフト宣言、腰痛防止に努めましょう！

○職員全員が収支バランスを意識し、黒字経営になるよう努めよう！

(1) 利用者様中心に（小さな変化を見逃さない）

拘縮及び褥瘡にならない介助

認知症進行の防止に努める

感染症対策の徹底

(2) 全員で取り組むケアの質の向上

施設内研修の充実

「なぜ・どうして」を常に意識していく仕組み

(3) 法人としてのガバナンスの強化・コンプライアンス維持の徹底

社会福祉法人として「法令順守」は当然のことであり、職員全員が意識して取り組んでいく、研修体制を確立する。社会人としての常識あるモラルの徹底。

(4) 外国人へのサポート

夜勤体制の指示指導

日本語教育に努めよう

5. 施設・事業所重点目標

(1) 嘱託医との連携・看取り看護・ACPの確立

(2) 職員が働きやすい環境整備

「働き方改革」を推進していく仕組みの構築、有給休暇の計画取得に向け取り組んでいく。

(3) 職員の資質向上・人材育成

職員全員がスキルアップを目指し、新人教育及び職員研修の充実を図っていく。

- ・生産性向上のための勉強会、DXを意識した施設経営
- ・資格取得のための支援（環境支援）
- ・OJT・エルダー制度の確立（新人教育及び外国人教育の充実）

(4) 情報公開の確立

「かごしま子育て応援企業」及び「ユースエール認定」としての誇りを持ち前向きに取り組んでいく

ホームページによる情報開示・財務内容の開示

さつま園だよりの定期発行・各種チラシ等の作成

(5) 財政基盤の強化

職員個々が経費節減に努め、安定した法人経営の実践

(6) 人材確保・離職防止

人材確保に関して、ホームページ等で外部へ法人の魅力を発信することにより応募をしやすいように工夫していく、研修会の充実を図り法人職員としてのスキルアップ及び給与体系の充実を図っていく。

(7) 地域との連携及び社会活動への取り組み

地域に根ざした福祉拠点としての活動、地域交流室の開放及び利用者を含め地域活動へ積極的に参加貢献していく。認知症の方への理解と支援を推進し、オレンジカフェの広報活動 さつま町レスキュー事業・おもいやりネットワークによる地域貢献活動の実践

(8) 職員のメンタルケア

職員のストレスチェックを通して「心の健康づくり」の保持増進を図る。

職員の健康管理に配慮する体制

令和6年度事業報告

【一年を通して】

○介護報酬改定が発表され、介護については、1.59%アップ(処遇改善手当等を含めると2.03%)が示された、しかしながら物価高騰のあおりを受けて、決して楽なアップ率ではないと考えている。食料品及び光熱水費等未だに高騰している状態であり、早急な対策が必要と考えている。鹿児島県及び各市町村に物価高騰における【支援金】を要望書と共にお願いしているが、鹿児島県からは支援金を頂いたが、各市町村に関してはかなり厳しい結果となっている。施設として、まず手始めに15年という長きにわたる『日清医療食品(株)』との取引を検討、今後このまま継続をするとかなりの赤字になっていくことが確実となることから、他の外部の業者を検討することとした。当初5社ほどの業者から見積もり及び試食をした結果、最終的に2社の選択となり、鹿児島市の株式会社 RCK に決定した。

○収支に関しては、職員全員で取り組んでくれたおかげで赤字ではありましたが、かなり善戦してくれました、その中で待機者の数がだんだんと落ちてきていることに不安感を覚えております。来年度以降入

所者及び待機者のご家族との密な連携を図って参りたいと思っています、鹿児島県は現在空床問題がクローズアップされており、これを解消することは困難となっている状況があります。担当部署のみならず職員全員の情報を集約して対処していきたいと思います。

○薩摩中央高校の卒業生が二名応募してくれて、採用できたことを非常に嬉しく思っています、これまでの実習生受入れが良かったお陰での成果と思っています、今後も出来るだけ広く綿密に計画をして受け入れていきたいと思っています。実習担当の熱心さに感謝です。

理事長	施設長	副施設長	事務長	総務次長
				

令和 6 年度 法人本部事業報告

社会福祉法人同仁会

令和6年度 事業報告書

1、会務の状況（理事会、評議員会、監事監査、評議員選任・解任委員会等の状況）

(1) 理事会

① 第1回理事会

日 時	令和6年6月7日（金）14時00分から15時40分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和5年度 事業報告の承認について
	第2号議案 令和5年度 収支決算の承認について 「監事監査報告」
	第3号議案 給与規程一部改正（案）の承認について
	第4号議案 就業規則（非常勤職員）一部改正（案）の承認について
	第5号議案 役員及び評議員、各種委員の報酬等並びに費用に関する 規程一部改正（案）の承認について
	第6号議案 評議員選任・解任委員の選任（案）について
	第7号議案 令和6年度 第1回定時評議員会の開催（案）について
【報告事項】	1) さつま園デイサービスセンター運営指導結果について 2) 職員の異動について

② 第2回理事会

日 時	令和6年10月23日（水）14時00分から14時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和6年度 第1回 理事長及び業務執行理事の業務執行報告について
【報告事項】	1) 職員の異動について

③ 第3回理事会

日 時	令和6年12月10日（火）14時00分から15時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和6年度 第1次補正予算（案）の承認について
	第2号議案 給与規程一部改正（案）について
	第3号議案 非常勤職員就業規則一部改正（案）について
	第4号議案 令和6年度 第2回評議員会の開催（案）について
【報告事項】	1) 職員の異動について

④ 第4回理事会

日 時	令和7年3月4日(火) 14時00分から15時50分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 給食業務委託業者契約解除に伴う給食業務について
	第2号議案 令和6年度 第2次補正予算(案)の承認について
	第3号議案 令和7年度 事業計画(案)の承認について
	第4号議案 令和7年度 当初予算(案)の承認について
	第5号議案 令和7年度 会社役員賠償責任保険の契約(更新)について
	第6号議案 育児・介護休業規程の一部改正(案)について
	第7号議案 就業規則の一部改正(案)について
	第8号議案 非常勤職員就業規則の一部改正(案)について
	第9号議案 令和6年度 第2回理事長及び業務執行理事の業務執行報告(案)について
	第10号議案 令和6年度 第3回評議員会の開催(案)の承認について
【報告事項】	1) 職員の異動について

(2) 評議員会

① 第1回定時評議員会

日 時	令和6年6月25日(火) 14時00分から15時30分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和5年度 事業報告の承認について
	第2号議案 令和5年度 収支決算の承認について 「監事監査報告」
	第3号議案 給与規程一部改正(案)の承認について
	第4号議案 就業規則(非常勤職員)一部改正(案)の承認について
	第5号議案 役員及び評議員、各種委員の報酬等並びに費用に関する規程一部改正(案)の承認について
【報告事項】	1) さつま園デイサービスセンター運営指導結果について 2) 職員の異動について

② 第2回評議員会

日 時	令和6年12月20日(金) 14時00分から15時00分
場 所	特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案	第1号議案 令和6年度 第1次補正予算(案)の承認について
	第2号議案 給与規程一部改正(案)について
	第3号議案 非常勤職員就業規則一部改正(案)について
【報告事項】	1) 職員の異動について

③ 第3回評議員会

日 時 令和7年3月14日（金）14時00分から15時30分
場 所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
議 案 第1号議案 給食業務委託業者契約解除に伴う給食業務について
第2号議案 令和6年度 第2次補正予算（案）の承認について
第3号議案 令和7年度 事業計画（案）の承認について
第4号議案 令和7年度 当初予算（案）の承認について
第5号議案 育児・介護休業規程の一部改正（案）について
第6号議案 就業規則の一部改正（案）について
第7号議案 非常勤職員就業規則の一部改正（案）について
【報告事項】 1) 職員の異動について

(3) 監事監査

日 時 令和6年5月31日（金）10時00分から15時00分
場 所 特別養護老人ホームさつま園 Calm癒し館 地域交流室
内 容 1) 令和5年度の事業報告等の監査
2) 令和5年度の計算書類及び財産目録の監査

(4) 内部経理監査

日 時 令和6年10月24日（水）14時00分から16時00分
場 所 さつま園事務所及び地域交流室
業 務 会計処理等について
実施者 施設管理次長 井ノ原 邦彦 業務管理次長 上原 耕三

(5) 評議員選任・解任委員会

日 時 開催無し

2. 運営指導及び指導監査等

令和6年度 各事業所実施無し

3. 総務

【目標】

- ①物品係との連携を図り、必要物品の把握・発注に努める。
- ②価格調査を実施し、経費節減を図る。
- ③年次有給休暇5日取得の推進を徹底する。
- ④研修の把握をする。
- ⑤節電・節約を周知する。
- ⑥健康診断・腰痛検査等の予定を早期に計画する。

- ⑦福利厚生の実施を図る。
- ⑧感染症対策として、来園者の健康チェックを徹底する。
- ⑨外国人材のフォローに努める。
- ⑩外国人雇用の定期提出書類等の提出を確実に行う。

【反省】

- ① 物品係と密に連携を図りながら、同時に価格調査を行い、物品購入を確実にできた。
- ② 価格調査は、随時行い品質を維持しながら、安価な物を購入する事が出来た。
- ③ 年休簿・リフレッシュ休暇簿の更新を確実にし、年休 10 日以上付与されている職員に対し声掛けを行い年休 5 日取得が確実に出来た。
- ④ 職員が個々のスキルアップに繋がる研修会に参加する事ができた。
- ⑤ 経費等の見直しを行い、節電・節約を周知できた。
- ⑥ 健康診断・腰痛検査は予定通りの実施が出来ていた。
- ⑦ 11 月職員・役員の方と一緒に、ミニスポーツ大会を実施し、多くの方に「楽しかった。また来年もしてほしい」など声をかけてもらえ、とても充実した交流会を実施することができた。
- ⑧ 感染症対策で、面会に制限はありますが、ご家族のご理解もあり円満に実施できています。
- ⑨ 外国人材フォローは、積極的に行えない時期も多く、相談課と総務だけでは対応出来ない時もありました。そのような時は、個人的に介護職員の協力もあり、助かっています。今後、全職員でフォローできるような取り組みに出来ないか課題である。
- ⑩ 定期書類や面談等の計画、在留カードの手続きなど遅延なく行えた。

4. 事業の成果

(1) 介護保険事業に係るその他の事業収入（補助金事業収入）

①特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	さつま町ケアプランデータ連携システム導入推進補助金	21,000 円
2	鹿児島県介護職員処遇改善支援補助金	782,099 円
3	鹿児島県介護事業等サービス継続支援事業費補助金	411,000 円
合計		1,214,099 円

②さつま園短期入所生活介護

	摘要	金額
1	鹿児島県介護事業等サービス継続支援事業費補助金	37,000 円
合計		37,000 円

③さつま園デイサービスセンター

	摘要	金額
1	鹿児島県介護職員処遇改善支援補助金	103,464 円
合計		103,464 円

(2) 事業活動に係る雑収入

① 本部

	摘要	金額
1	全国経営協 モニター会員協力費	10,000 円
合計		10,000 円

② 特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	退職給付引当資産差益収入 (1 名分)	63,126 円
合計		63,126 円

③ さつま園デイサービスセンター

	摘要	金額
1	退職給付引当資産差益収入 (2 名分)	246,031 円
合計		246,031 円

(3) 施設整備等補助金収入

①特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	鹿児島県介護テクノロジー定着支援事業補助金	1,868,000 円
合計		1,868,000 円

(4) 固定資産取得に係る支出

①器具及び備品取得支出

特別養護老人ホームさつま園

	摘要	数量	金額
1	電気温水器 (Calm 館)	2 台	288,000 円
2	見守り介護支援ロボット ネオスケア	5 台	2,325,400 円
合計			2,613,400 円

②さつま園デイサービスセンター

	摘要	数量	金額
1	テレビ 54 インチ (豊部屋)	1 台	129,220 円
合計			129,220 円

(5) 修繕費支出

①特別養護老人ホームさつま園

	摘要	数量	金額
1	給湯用ボイラー修理	一式	187,000 円
2	ベッドキャスター交換作業 (18 台分)	一式	1,210,000 円
3	エアコン分解洗浄 (カーム館居室 27 台)	一式	297,000 円
4	電動ベッド修理代	一式	102,520 円
5	エアコン分解洗浄 (厨房)	一式	83,600 円
6	再加熱調理器設備工事	一式	95,000 円
合計			1,975,120 円

②さつま園デイサービスセンター

	摘要	数量	金額
1	手洗い器自動水栓取替 (女性トイレ前)	一式	50,000 円
2	蛇口取替 (浴室)	一式	65,000 円
合計			115,000 円

(6) 福利厚生費支出

①法人本部

	摘要	金額
1	役員賠償責任保険	78,140 円
2	役員永年就任記念品	29,018 円
合計		107,158 円

②特別養護老人ホームさつま園

	摘要	金額
1	看護師傷害保険料 (4 名)	12,120 円
2	職員一般傷害保険料	506,720 円
3	健康診断料 (夜勤者)	100,650 円
4	健康診断料	287,873 円

5	腰椎検診料（年2回）	293,930 円
6	雇い入れ時健康診断料（6名）	61,300 円
7	インフルエンザ 予防接種代（48名実施）	156,200 円
8	永年勤続表彰（5名）	126,644 円
9	職員交流スポーツ大会関係	136,974 円
10	検便代	42,680 円
11	感染症対策費用	223,762 円
合計		1,948,853 円

③ さつま園デイサービスセンター

	摘要	金額
1	腰椎検診料（8名）	36,176 円
2	インフルエンザ 予防接種代（9名実施）	33,300 円
3	健康診断料（8名）	43,670 円
4	検便代（11名分）	8,360 円
合計		121,506 円

④ さつま園在宅介護支援センター

	摘要	金額
1	インフルエンザ 予防接種代（1名分）	4,000 円
2	健康診断料（1名分）	5,282 円
合計		9,282 円

⑤ 居宅介護支援事業所さつま園

	摘要	金額
1	インフルエンザ 予防接種代（2名分）	8,000 円
2	健康診断料（2名分）	10,564 円
合計		25,230 円

(7) 備品処分

① 特別養護老人ホームさつま園

名 称	数量	取得年月日	取得価格	令和7年3月末 帳簿価格
自動洗濯脱水機	1	平成6年8月1日	2,317,500 円	1 円

(8) 介護保険事業

1) 施設・各事業所

①介護老人福祉施設（特別養護老人ホームさつま園）

利用者定員 70 名（従来型個室 20 名）（多床室 50 名）

・延べ利用者数 24,090 名（66 人/日）稼働率 94.3%

前年度比：101.8%（415 名増）

さつま園会計支出按分比率 90%

②短期入所生活介護事業（ショートステイ）

利用者定員 10 名

・延べ利用者数 2,974 名（8.1 名/日）稼働率 81.4%

前年度比：87.4%（429 名減）

ショートステイ会計支出按分比率 10%

③通所介護事業所（さつま園デイサービスセンター）

利用者定員 40 名

・延べ利用者数 6,464 名（21.26 名/日）営業日数 304 日

介護延べ人数 4,194 名 前年度比：106.6% 262 名増

予防延べ人数 1,973 名 前年度比：73.2% 720 名減

総合事業延べ人数 297 名 前年度比：380.7% 219 名増

④居宅介護支援事業（居宅介護支援事業所さつま園）

・介護計画作成件数

介護給付 847 件 前年度比：94.3% 51 件減

予防給付 99 件 前年度比：120.7% 17 件増

合計 946 件 前年度比：96.5% 34 件減

(9) 委託事業（さつま町委託事業）

1) 在宅介護支援事業（さつま園在宅介護支援センター）

・さつま町在宅介護支援センター総合相談業務委託

年間延べ相談件数 75 件 前年度比：101.3%（1 件増）

・さつま町認知症カフェ設置業務委託

感染症予防対策のため開催無し

・ふれあいサロン、ころばん教室等への参加

令和 6 年度

さつま園事業実績報告

(介護老人福祉施設事業)

(短期入所生活介護事業)

令和 7 年 5 月

さ つ ま 園

理事長	施設長	副施設長	事務長
			

令和6年度 業務実施報告書

1. 総括

令和6年度は、入所調整、感染対策、看取り介護の実施など、施設運営において重要な取り組みが多くあった。感染症の影響や人手不足といった困難もあったが、それぞれの係が工夫しながら対応し、一定の成果をあげることができた。一方で、記録や書類の整理、情報共有の方法など、うまくいかなかった部分もあり、今後の改善が必要である。来年度は、今年の経験をふまえて、より安心・安全で働きやすい施設づくりを進めていく。

2. 各課・係別 目標および反省・評価

【相談課】

目標

1. 入所待機者の把握に努め、スムーズな入所につなげる。合わせて、地域への啓発・広報を強化し入所待機者の確保を図る。
2. 適切な施設経営を行うための効率化、稼働率の高水準確保に努める。
(長期入院の場合の退所の見極めと利用者及び家族への十分な説明とフォローの実施)
3. 感染症対策を徹底し、感染防止に努める。
4. 施設での看取り介護についての啓発と実施を図る。
5. 短期入所に関する啓発を図り、利用促進につなげる。
6. 記録・書類の整備

反省・評価

入所待機者の確認や、地域への広報は計画通りに進み、入所の調整はスムーズだった。施設の稼働率もおおむね良好だったが、感染症の流行時には一時的に利用者が減る時期もあり、今後の感染対策の強化が必要である。看取り介護や短期入所の取り組みは進んでおり、地域への発信も続けている。記録や書類については、忙しさから一部で対応が遅れたため、業務の進め方を見直し、職員間の連携をもっと強める必要がある。

【介護職員】

目標

1. 感染対策・対応のマニュアル化と、その内容を職員間で周知・連携し、対応力の強化を図る。
2. 経験から学び、振り返りと反省をして、次に活かすケアを実践する。

3. 介護職員一人ひとりが、日々の利用者様の情報収集を行い、職員間で情報の共有と統一を図る。
4. 介護職員間、他職種間での報告・連絡・相談の徹底。
5. 基本的介護の実践と介護ロボット、ICT等の介護技術の勉強や、腰痛予防対策等の意識を高め、利用者にも職員にも優しいケアを実践する。

反省・評価

感染症への対応は、前年度の反省を活かして、職員全体で臨機応変に動くことができた。朝礼や会議を通じて、利用者の体調変化を共有できる場が定着し、ケアの質も上がった。スライディングボードや移乗器具の使い方も浸透し、職員の身体的負担も減ってきた。介護ロボットやICT導入も少しずつ始まり、働きやすさにもつながっている。今後は、新人にもわかりやすいマニュアルの整備と、継続した勉強会の実施が必要である。

【看護職員】

目標

1. 利用者の体調変化には早期発見と的確な対応に努める。
2. 医療機関との連携を密に行い、必要時の適切な対応が出来るように努める。
3. 他職種との連携を図り、必要な医療行為を適切に行う。
4. 看護記録を充実させる。

反省・評価

利用者の体調変化については、介護職からの細かい情報をもとに早めに対応することができていた。

医療機関や他職種との連携も進めることができ、必要な情報はしっかり共有されていた。

看護記録も、できるだけ詳しく書くように意識しており、情報共有の手段として活用されていた。

【機能訓練】

目標

1. 利用者の声に耳を傾け、心身機能の維持、可能な方は回復のためのリハビリに努める。
2. 多職種協働で、ベッド上や車いす上での姿勢の見直しや助言・指導を行う。
3. 利用者や職員からの相談、要望に早急に対応し、解決できるように努める。

4. 評価やリハビリ計画書の作成の期日を確認し、計画的に行う。

反省・評価

利用者の声を大切にしながら、身体機能の維持や回復を目指したリハビリを実施した。
ベッドや車いす上での姿勢については多職種と協力し、助言や指導を行った。
相談や要望にはできる限りすぐに対応し、問題の早期解決を心がけた。
リハビリ計画書の作成も期日を守って行うことができた。

【管理栄養士・栄養士】

目標

1. 多職種との連携を図ると同時に、LIFE のフィードバックを生かす。
2. 栄養状態改善を通じて利用者様個々に合わせた栄養ケア計画を策定する。
3. 日清医療食品との連絡・調整を行い、安心・安全な食事を提供する。
4. 栄養関係の物品管理を徹底する。

反省・評価

LIFE のフィードバックは十分に活かせなかったため、今後の課題となっている。
多職種との連携は徐々に進みつつある。
食中毒や事故は減り、安全管理の意識は向上している。

【行事レクリエーション係】

目標

1. 利用者に楽しんでいただけるような行事を計画する。
2. レクリエーションの計画は事前（1週間前）に提示。準備は前日までに行う。
3. レクリエーション会議を定期的に開催して活動内容の充実を図る。

反省・評価

感染症の影響で一部の行事は延期・中止となったが、できる範囲で柔軟に対応できた。
原則どおり1週間前の掲示と前日までの準備は達成できたが、掲示の遅れも一部であった。
内容を利用者や他職員の声も反映させるように工夫していく必要がある。

【給食係】

目標

1. 栄養状態、口腔、体調など、利用者の状態を把握し職種間で情報共有をはかる。
2. 受託先と協力し季節感のある食事を提供する。

反省・評価

多職種で利用者の体調や栄養状態を共有し、それぞれに合った対応を行った。
行事食や季節の食事工夫され、利用者からの満足度も高かった。

【排泄係】

目標

1. 利用者個々の排泄状況の把握に努め、職種間で情報共有・相談しながら連携に努める。
2. 利用者にあった物品の選択と経費節減に努める。
3. オムツ内環境の改善に努め、尿路感染、膀胱炎、皮膚トラブルの防止に努める。

反省・評価

看護職との情報共有を通じて、それぞれの状態に合わせた排泄ケアを実施した。
皮膚トラブルの防止にも取り組んだが、一部では状態悪化も見られ、今後の継続課題となった。

【入浴・衛生管理係】

目標

安心・安全にゆっくりとした入浴と清潔が保持できるように支援する。
口腔ケアチェック表の活用と医師、歯科医師、看護職員との連携をはかり、指導・助言を受けながら利用者の口腔内の清潔保持・環境の改善に努める。
利用者の身だしなみ（整髪・眼脂・爪切り・髭剃り・耳掃除など）の管理に努める。

反省・評価

感染症や職員不足の影響で入浴対応が難しい時期もあったが、清拭などで清潔保持に努めた。
口腔ケアの記録活用には課題が残るが、歯ブラシ交換は定着しつつある。
身だしなみの管理も行っていたが、細かな部分は看護職との連携が引き続き必要である。

【リハビリ係】

目標

リハ係として率先して利用者様の残存機能活用を行う。また、残存機能が活用できるように多職種協働で環境整備や介助方法の見直し、声掛けを継続する。

腰痛対策として、腰痛予防対策マネジメントを継続していく。普段のケア・介助方法を見直す。利用者の心身両面の活性化のため、職員と共に楽しむ時間や余暇活動を行える。そのために気軽に行える活動がないか検討し、実施する。

褥瘡対策として、まずは知識を持ち、褥瘡対策の必要性を理解する。褥瘡を発生させない、発生した場合は多職種連携し早期治癒を目指す。

反省・評価

残存機能の活用を意識した支援が進み、職員の理解も深まってきた。

腰痛予防については、注意喚起やデータ掲示などの取り組みが行われ、腰痛の改善報告もできた。

余暇活動や褥瘡対策は引き続き改善と工夫が必要である。

【OT 係】

目標

写真データの管理、整理に努める。

「書道教室」改め「書道クラブ」とし少人数でも実施していく。

菜園、花壇を活用し、園で収穫した野菜を利用者に食べていただけるようにする。

反省・評価

写真を個別に整理していたことで、家族への提供にも役立った。

書道クラブは形式を変えて継続し、多くの利用者が参加できた。

菜園活動は成果があり、収穫物を活用して提供することができた。

【実習担当係】

目標

生徒が施設に就職したいと思えるような情報提供・実習指導に努める。

学校や実習生のとの情報交換を行い、実技指導、講義などにつなげる。

実習生の気持ちに寄り添い指導を行う。

反省・評価

丁寧な指導や雰囲気づくりに努めた結果、新卒採用につながった。

一方で、指導内容の統一や日程調整などに課題もあり、今後の改善点である。

【リスク係】

目標

利用者との関わりを通じ、小さな変化を感じ取り、情報共有を図りながらアクシデント・ヒヤリハットを防ぐ。

福祉用具やその他物品を適切に使用し、介護事故防止に努める。

反省・評価

福祉用具の適切な活用により、事故リスクの軽減が図られた。

一方で、インシデント報告の遅れや書類提出の遅延が見られ、改善が必要である。

【24 時間シート係】

目標

24 時間シート活用の目的を明確にして、職員間での周知を図り、シートを意識して活用が出来るようにする。

各担当や職員間で、24 時間シート内容の確認や情報共有を行う時間設定や仕組みを作る。

24 時間シートの定期的な見直しやカンファレンス等での活用を意識づける。

会議を定期的に行い、24 時間シートの活用状況の把握に努める。

反省・評価

職員不足や業務多忙により、シートの作成や更新が遅れた。

活用の目的や運用方法を見直し、他の方法も検討していく必要がある。

【感染症対策委員会】

目標

感染症に関する情報収集・周知を迅速に行う。

BCP・マニュアルを準備、シミュレーションを行い、予防と感染対策に努める。

反省・評価

初動の遅れやゾーニングの不徹底、物品不足など、対応面に多くの課題があった。
今後はマニュアルの見直しや基本対応の徹底を行い、再発防止を図る。

特養入所年齢別利用者数

さつま園

令和6年4月 ～ 令和7年3月

印刷日 令和7年5月14日

年 区	齡 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
～ 59	男										
	女										
	計										
60 ～ 64	男						15(1)				15(1)
	女										
	計						15(1)				15(1)
65 ～ 69	男							104(4)	81(4)		185(8)
	女										
	計							104(4)	81(4)		185(8)
70 ～ 74	男							239(8)	31(1)		270(9)
	女						153(5)	463(16)			616(21)
	計						153(5)	702(24)	31(1)		886(30)
75 ～ 79	男							501(17)			501(17)
	女						269(9)	365(12)			634(21)
	計						269(9)	866(29)			1135(38)
80 ～ 84	男							656(22)	26(1)		682(23)
	女						761(25)	742(26)	772(28)		2275(79)
	計						761(25)	1398(48)	798(29)		2957(102)
85 ～ 89	男					365(12)		15(1)	486(16)		866(29)
	女						1029(35)	1658(59)	919(32)		3606(126)
	計					365(12)	1029(35)	1673(60)	1405(48)		4472(155)
90 ～ 94	男						655(23)	1197(41)	292(11)		2144(75)
	女					243(8)	670(22)	4417(149)	1175(41)		6505(220)
	計					243(8)	1325(45)	5614(190)	1467(52)		8649(295)
95 ～ 99	男						190(8)	365(12)			555(20)
	女						1292(44)	2692(92)	629(22)		4613(158)
	計						1482(52)	3057(104)	629(22)		5168(178)
100 ～	男										
	女						31(1)	301(10)	291(11)		623(22)
	計						31(1)	301(10)	291(11)		623(22)
合 計	男					365(12)	860(32)	3077(105)	916(33)		5218(182)
	女					243(8)	4205(141)	10638(364)	3786(134)		18872(647)
	計					608(20)	5065(173)	13715(469)	4702(167)		24090(829)

平均介護度： 3.94 男性： 3.87 女性： 3.96

平均年齢： 89.6 男性： 86.6 女性： 90.5

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。

XXXX(XXX) 前半の数字は延日数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

短期入所生活介護 年齢別利用者数

さつま園

令和6年4月 ～ 令和7年3月

印刷日 令和7年5月14日

年 区	齢 分	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	左記以外	合計
～ 59	男		10(3)								10(3)
	女										
	計		10(3)								10(3)
60 ～ 64	男										
	女										
	計										
65 ～ 69	男		4(1)								4(1)
	女										
	計		4(1)								4(1)
70 ～ 74	男						20(2)	29(3)			49(5)
	女				7(1)			7(1)	41(3)		55(5)
	計				7(1)		20(2)	36(4)	41(3)		104(10)
75 ～ 79	男					136(6)		122(8)			258(14)
	女					30(2)	64(3)		168(10)		262(15)
	計					166(8)	64(3)	122(8)	168(10)		520(29)
80 ～ 84	男						14(2)	168(17)	42(3)		224(22)
	女				16(7)	10(1)	9(1)				35(9)
	計				16(7)	10(1)	23(3)	168(17)	42(3)		259(31)
85 ～ 89	男				9(1)		90(5)	20(5)	3(1)		122(12)
	女			6(2)	301(20)	49(5)	63(13)	7(1)			426(41)
	計			6(2)	310(21)	49(5)	153(18)	27(6)	3(1)		548(53)
90 ～ 94	男				20(3)	314(14)	97(6)				431(23)
	女			3(2)	20(4)	8(3)	113(12)	148(11)	8(1)		300(33)
	計			3(2)	40(7)	322(17)	210(18)	148(11)	8(1)		731(56)
95 ～ 99	男				8(2)						8(2)
	女			4(1)		442(24)	160(13)	167(18)			773(56)
	計			4(1)	8(2)	442(24)	160(13)	167(18)			781(58)
100 ～	男										
	女					17(3)					17(3)
	計					17(3)					17(3)
合 計	男		14(4)		37(6)	450(20)	221(15)	339(33)	45(4)		1106(82)
	女			13(5)	344(32)	556(38)	409(42)	329(31)	217(14)		1868(162)
	計		14(4)	13(5)	381(38)	1006(58)	630(57)	668(64)	262(18)		2974(244)

平均介護度： 2.76 男性： 2.98 女性： 2.65

平均年齢： 87.7 男性： 82.8 女性： 90.2

- 年齢は対象月の月初日の年齢（５歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX(XXX) 前半の数字は延日数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所長	事務長	課長	相談員
	稀添	芳坂 成元	外川	外川

令和6年度 実績報告・反省

さつま園 デイサービスセンター

<実績報告>

- ・年間延べ利用者数 — 6,464名（前年度比 — 239名減）
→年間延べ利用者数内訳（介護4,194名、総合事業2,270名）
- ・年間実利用者数 — 129名
- ・年間営業日数 — 304日（台風接近の為、1日休業）
- ・年間1日平均 — 21.26名（詳細については別紙記載）

<反省>

・良かった点は施設外花見に4年ぶりに出かけられた事、年3回の外出行事ができた事、敬老会に慰問（踊り団体・恵光保育園）が来ていただけた事、感染症が流行らなかった事でした。

・実績においては上記記載のように前年度比、延べ利用者数が239名減と少なかったです。別紙の実績報告書にありますが8月、9月が70名以上減っている事より熱中症の為、入院される利用者様が多かったり、自宅にクーラーがなくショートステイを利用されたりされる方が多かったようです。また、実利用者数においては10名ほど減ってきましたが、介護の方が増え予防の方が減ってきている状況です。別紙の推移表にありますが要支援1・2、要介護3の方が減り、事業対象者、要介護2、要介護4の方が増えています。別紙の年齢別利用者数にありますが平均年齢が88.9歳と高齢になっています。

・業務改善会議の実施が殆どなかった為、今年度は奇数月の職員会議後に計画し行う。偶数月の職員会議後は事業所内研修、虐待防止委員会を行う。また、12月～2月にかけては感染症予防の為、研修会の延期や中止が多かった為、研修計画を見直した。

令和6年度実績報告書

さつま園 デイサービスセンター

年月日	延べ利用者数	実利用者数	介護延べ人数	介護実人数	予防延べ実人数	予防実人数	事業対象者延べ人数	事業対象者実人数	営業日数	1日平均数
R6. 4	539 (-35)	91	298	50	228	39	13	2		20.73
R6. 5	614 (+21)	86	364	50	236	34	14	2		22.74
R6. 6	562 (-10)	88	339	52	203	33	20	3		22.48
R6. 7	586 (-3)	83	366	50	197	30	23	3		21.7
R6. 8	461 (-73)	80	298	51	146	26	17	3		20.04
R6. 9	496 (-70)	80	344	54	130	23	22	3		19.84
R6. 10	572 (-11)	82	394	55	153	23	25	4		21.18
R6. 11	552 (-19)	81	370	55	153	22	29	4		21.23
R6. 12	564 (-1)	83	392	56	138	22	34	5		22.56
R7. 1	471 (-27)	75	312	48	131	22	28	5		19.62
R7. 2	490 (-26)	77	332	50	123	22	35	5		20.41
R7. 3	557 (+15)	80	385	54	135	21	37	5		22.28

※ 8/29台風接近の為、臨時休業。

通所介護・総合事業介護度別推移表（さつま園デイサービスセンター）

R5年度	認定無し	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	月計
4月	0	6	68	148	152	110	63	19	8	574
5月	0	14	64	167	139	124	63	14	8	593
6月	0	13	58	167	128	136	51	12	7	572
7月	0	4	64	179	132	133	59	14	4	589
8月	0	4	60	157	112	110	76	11	4	534
9月	0	8	56	181	122	109	73	13	4	566
10月	0	8	53	196	141	106	60	19	0	583
11月	0	5	54	181	142	108	70	11	0	571
12月	0	4	64	148	144	110	75	20	0	565
1月	0	4	65	138	128	98	60	5	0	498
2月	0	4	54	159	151	76	62	10	0	516
3月	0	4	55	157	158	72	85	11	0	542
年度合計	0	78	715	1,978	1,649	1,292	797	159	35	6,703
年度平均	0	7	60	165	137	108	66	13	3	559
R6年度	認定無し	事業対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	月計
4月	0	13	50	178	127	88	65	17	1	539
5月	0	14	50	186	142	127	62	23	10	614
6月	0	20	44	159	137	102	61	26	13	562
7月	0	23	37	160	161	119	48	26	12	586
8月	0	17	29	117	121	110	26	27	14	461
9月	0	22	30	100	138	108	51	46	1	496
10月	0	25	37	116	157	129	65	43	0	572
11月	0	29	33	120	157	129	49	35	0	552
12月	0	34	27	111	161	132	45	54	0	564
1月	0	28	39	92	117	108	47	40	0	471
2月	0	35	32	91	133	122	41	36	0	490
3月	0	37	41	94	173	139	44	29	0	557
年度合計	0	297	449	1,524	1,724	1,413	604	402	51	6,464
年度平均	0	25	37	127	144	118	50	34	4	539
年度合計差異	0	219	-266	-454	75	121	-193	243	16	-239
年度平均差異	0	18	-22	-38	6	10	-16	20	1	-20

※ 表記は延数

年齢別利用者数

サービス：通所介護
対象年月：令和6年4月～令和7年3月
出力対象：サービス予定実績

年 区	年齢 分	事業 対象者	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	左記以外	合計
～ 59	男										
	女										
	計										
60 ～ 64	男										
	女										
	計										
65 ～ 69	男										
	女										
	計										
70 ～ 74	男					61(9)	17(3)				78(12)
	女		18(4)	4(1)	60(9)						82(14)
	計		18(4)	4(1)	60(9)	61(9)	17(3)				160(26)
75 ～ 79	男				25(7)		51(4)	80(6)			156(17)
	女	101(12)	24(6)	182(24)	77(10)						384(52)
	計	101(12)	24(6)	182(24)	102(17)		51(4)	80(6)			540(69)
80 ～ 84	男				9(1)	104(17)		17(5)		42(5)	172(28)
	女			51(7)	115(29)		50(6)				216(42)
	計			51(7)	124(30)	104(17)	50(6)	17(5)		42(5)	388(70)
85 ～ 89	男		33(9)	26(4)	70(11)	59(7)	24(5)	24(8)			236(44)
	女	146(20)	112(29)	436(53)	438(58)	380(49)	82(12)	70(16)			1664(237)
	計	146(20)	145(38)	462(57)	508(69)	439(56)	106(17)	94(24)			1900(281)
90 ～ 94	男		66(17)	91(16)	162(22)	161(26)	114(15)		2(1)		596(97)
	女	50(12)	171(43)	641(80)	744(99)	415(55)	156(16)	68(10)			2245(315)
	計	50(12)	237(60)	732(96)	906(121)	576(81)	270(31)	68(10)	2(1)		2841(412)
95 ～ 99	男										
	女		25(7)	93(17)	24(11)	163(32)	110(20)	143(31)	49(6)		607(124)
	計		25(7)	93(17)	24(11)	163(32)	110(20)	143(31)	49(6)		607(124)
100 ～	男										
	女					28(4)					28(4)
	計					28(4)					28(4)
合 計	男		99(26)	117(20)	266(41)	385(59)	206(27)	121(19)	2(1)	42(5)	1238(198)
	女	297(44)	350(89)	1407(182)	1458(216)	986(140)	398(54)	281(57)	49(6)		5226(788)
	計	297(44)	449(115)	1524(202)	1724(257)	1371(199)	604(81)	402(76)	51(7)	42(5)	6464(986)

平均介護度： 1.40 男性： 1.75 女性： 1.31

平均年齢： 88.9 男性： 87.0 女性： 89.4

- 年齢は対象月の月初日の年齢（5歳刻み）で分類されています。
- 介護度は対象月内の（最も新しい）介護保険の介護度により振り分けられています。
- 平均介護度は要支援以下を0.375として計算しています。
- 各欄は下記の編集方法となります。
XXXX (XXX) ・ ・ ・ ・ 前半の数字は延回数。 () 内の数字は実人数を表示しています。

理事長	所 長	事務長	在宅課長	主 任	係
	和 添	芳 坂 成 元	石 橋		

令 和 6 年 度

事 業 実 施 報 告 書

さ つ ま 園

在 宅 介 護 支 援 セ ン タ ー

相談実績票

在宅介護支援センター さつま園

対象期間：令和06年04月01日～令和07年03月31日

作成日付：令和07年04月15日

I) 相談件数

1 / 4

【全体】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	75	3	0	72	0
相談延人員	75	3	0	72	0
相談実人員	64	3	0	63	0
【通常相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	75	3	0	72	0
相談延人員	75	3	0	72	0
相談実人員	64	3	0	63	0
新規件数	19	0	0	19	0
【ケアマネ相談】	合計	電話	来所	訪問	その他
相談延べ件数	0	0	0	0	0
相談延人員	0	0	0	0	0
相談実人員	0	0	0	0	0

II) 相談内容別件数

相談区分

【通常相談】	延件数	電話	来所	訪問	その他
01 介護・日常生活に関する相談	11	1	0	10	0
01 本人の介護方法に関する相談	1	0	0	1	0
02 本人の心身に関する相談	9	1	0	8	0
03 介護者の心身に関する相談	0	0	0	0	0
04 認知症に関する相談	0	0	0	0	0
01 認知症に関する相談	0	0	0	0	0
02 認知症初期集中支援に関する相談	0	0	0	0	0
05 退院後の生活に関する相談	0	0	0	0	0
06 その他（2024年08月13日まで）	1	0	0	1	0
02 サービスの利用に関する相談	64	2	0	62	0
01 介護保険サービス	17	1	0	16	0
02 保健福祉サービス	47	1	0	46	0
01 食の自立支援事業	44	1	0	43	0
02 外出支援サービス事業	0	0	0	0	0
03 介護用品支給事業	3	0	0	3	0
04 緊急通報装置事業	0	0	0	0	0
05 徘徊高齢者緊急通報体制整備事業	0	0	0	0	0
06 高齢者福祉電話貸与事業	0	0	0	0	0
07 その他（2024年08月13日まで）	0	0	0	0	0
03 医療に関する相談	0	0	0	0	0
04 家計・困窮に関する相談	0	0	0	0	0
05 家族・社会関係に関する相談	0	0	0	0	0
06 権利擁護に関する相談	0	0	0	0	0
01 成年後見に関する相談	0	0	0	0	0
02 金銭管理に関する相談	0	0	0	0	0
03 消費者被害に関する相談	0	0	0	0	0
04 身元保証（入院・入所等）に関する相談	0	0	0	0	0
05 死後事務に関する相談	0	0	0	0	0
06 高齢者虐待に関する相談	0	0	0	0	0
01 身体的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
02 ネグレクトに関する相談	0	0	0	0	0
03 心理的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
04 性的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
05 経済的虐待に関する相談	0	0	0	0	0
06 その他（2024年08月13日まで）	0	0	0	0	0
07 障害に関する相談	0	0	0	0	0
08 子育てに関する相談	0	0	0	0	0
09 その他	0	0	0	0	0
計	75	3	0	72	0

※ 年間目標に対しての反省点 ※

- ・ 居宅介護支援事業所のケアマネ業務のウェイトが大き
く、その業務や問題ケースへの対応に追われた。広く町
民への実態把握訪問活動や医療との連携及び民生委員と
の連絡・連携が十分ではなかった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策からオレンジカフェ
の開催を行う事ができなかった。
- ・ 新型コロナウイルスの感染予防対策から訪問を自粛する
必要があり、民生委員や病院を含め積極的な訪問活動が
展開できず訪問件数が少なかった。

※ 評 価 点 ※

- ・ 地域包括支援センターや民生委員および行政機関からの
訪問依頼に対しては、迅速に相談対応を行った。
- ・ 民生委員からの携帯への相談にも公休であっても対応
し、要望への対処を遅滞なく行った。
- ・ 問題ケースの対応を行政と一体となり取り組め、解決に
向けて積極的なアプローチが図れた。

- ・福祉給食等、役場から依頼された調査に関して期限内に遅れることなく調査を終え提出を行った。
- ・「ふれあいサロン」や「ころばん教室」への参加を例年より数は少なかった継続的に行い、一般高齢者に対してのレクリエーションや健康体操、福祉相談の実施に取り組めた。

理事長	所長	事務長	居宅課長	主任	係
	手添	芳成	石神	三	

令和 6 年度 事業実績報告・反省

居宅介護支援事業所さつま園

令和 6 年度 事業実績報告・反省

居宅介護支援事業所さつま園

介護給付	847 件	前年度比 51 件減
予防給付	99 件	前年度比 17 件増

反省

- ・年間を通して、ご利用者やご家族が自宅で望む生活がおくれるよう支援し様々な問題に取り組んだ。しかし、長期に支援していたご利用者が入院や施設入所、又はお亡くなりになられ世代交代が進み給付件数もやや減少となった。家族の介護状況も様々となり相談内容は多岐に渡った。
- ・新規相談にあたっては、認知症状がある程度進行してからのケースも多く、早期に発見し支援に結び付けていく難しさを感じている。今後も、認知症を含めた様々なケースの対応を行い適切なケアマネジメント業務を行っていくよう努めていきたい。
- ・今年度は、事業所内でBCP（業務継続計画）について、立案から作成、話し合いまで行うことができた。計画をもとに危機管理に意識

を持って業務に取り組んでいきたい。

・来年度は、ご利用者やご家族へ様々なニーズに沿った支援を紹介し、幅広いサービスに繋げていくことに努めていきたい。地域住民に対する啓発活動も含め、相談機関としての役割を果たしていけるようにしたい。また、医療機関や多職種との連携をより充実したものとし、入退院の連携シートの活用などご利用者、ご家族が望まれる生活に少しでも近づけるように支援を行っていきたい。